

WEINTEK LABS., INC

バーコードリーダー

サンプルプロジェクト

目次

1. 概要及び操作.....	1
2. 設定手順.....	4
3. アドレス設定.....	5

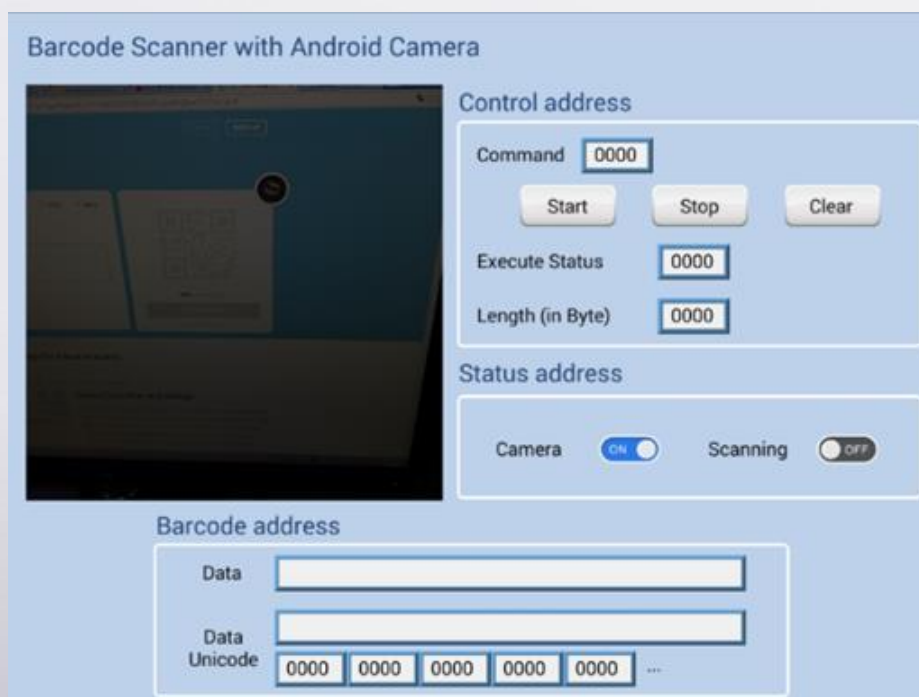
1. 概要及び操作

概要

下記の例で、バーコードリーダーオブジェクトの使用方法を紹介します。設定した後、HMI で実行する時、ユーザーはカメラ付のアンドロイドシステムのモバイルデバイス上の cMT Viewer で監視し、カメラでバーコードをスキャンしてから、情報を HMI に同期することができます。

操作

ステップ 1. 最初の頃、画面は暗めの状態にあります



ステップ 2. Start ボタンを押すと、Scanning 状態がオープンされ、画面が明るくなったらスキャンが始めます。



ステップ 3. 成功にデータを読み取った後(実行状態は 1)、QR コードがキャプチャされ、内容は Barcode address (バーコードアドレス)に表示されます。また、Unicode も使用可能です。



ステップ 4. 読み取った情報のサイズが制限(例では 10 bytes)を超えた場合、実行状態は 2 (エラーコード)になり、しかし、制限を超えた部

分の表示はアスキーオブジェクトの設定によります(例では 20 words)。制限を超えたので表示が消されることはありません。



Barcode Scanner with Android Camera

Control address

Command: 0000

Start Stop Clear

Execute Status: 0002

Length (in Byte): 0015

Status address

Camera: ☒ ON Scanning: ☐ OFF

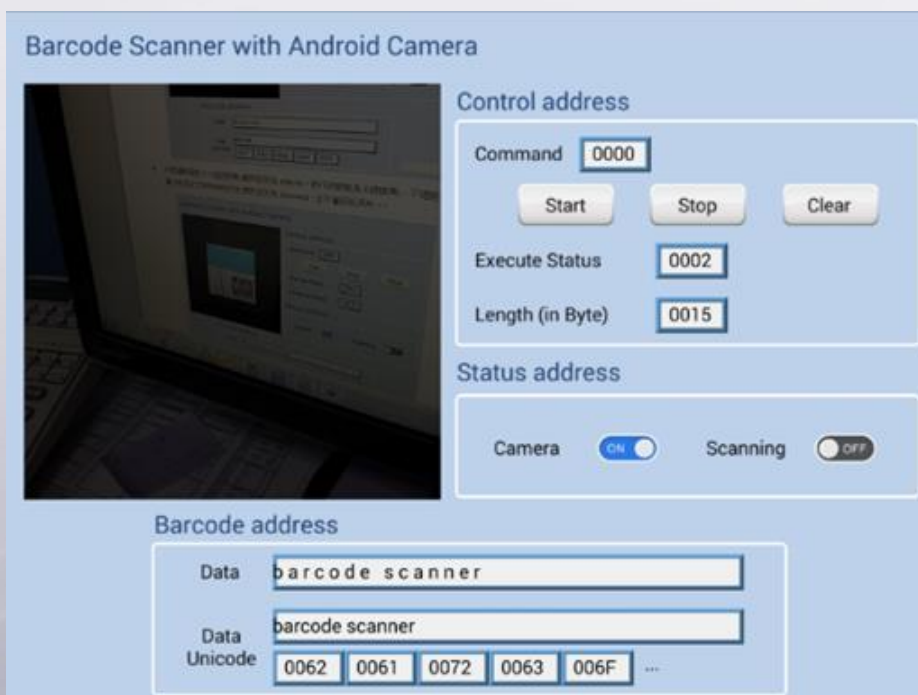
Barcode address

Data: barcode scanner

Data: barcode scanner

Data Unicode: 0062 0061 0072 0063 006F ...

ステップ 5. ページが切り替えられたら、Scanning は Off になり、パラメータは次回で開始(Start)または消去(Clear)ボタンが押されたまで、前回のパラメータを保存し続けます。



Barcode Scanner with Android Camera

Control address

Command: 0000

Start Stop Clear

Execute Status: 0002

Length (in Byte): 0015

Status address

Camera: ☒ ON Scanning: ☐ OFF

Barcode address

Data: barcode scanner

Data: barcode scanner

Data Unicode: 0062 0061 0072 0063 006F ...

2. 設定手順

ステップ 1. [バーコードリーダー] オブジェクトを新規作成し、コントロールアドレスを LW-0 に設定します。LW-0~LW-2 はそれぞれコマンド、実行状態(コマンドを含む)、データ長さを表しています。

ステップ 2. 状態アドレスを LB-0 に設定します。LB-0 と LB-1 はカメラの状態とスキャンの実行状態を表しています。

ステップ 3. バーコードアドレスを LW-10、長さを 20 words に設定し、Unicode を使用するのを選択します。

ステップ 4. 読み取り制限を 10 Bytes に設定します。これを超えると、実行状態は 2 に変更されます。

ステップ 5. ウィンドウで対応するオブジェクトを新規作成します: 三個の [数値] オブジェクト LW-0~LW-2 (コマンド、実行状態、データ長

さ)、三個の[ワード設定]オブジェクト LW-0 (開始、停止、消去)、
二個の[ビット設定]オブジェクト LB-0~LB-1(カメラ状態、スキャン状態)、二個のデータを表示する[アスキー]オブジェクト LW-10、及び数個の Unicode コードを表示する[数値]オブジェクト LW-10~LW-14 を新規作成します。

3. アドレス設定

本例で使用したオブジェクトのアドレスは下記の通りです。実際の需要に応じ、調整してください。

オブジェクト	アドレス	オブジェクト ID	記述
視窗 10			
條碼掃描器オブジェクト	LW-0, LB-0, LW-10	BS_0	バーコードをスキャンする
数値	LW-0	ND_2	コマンドを設定する
数値オブジェクト	LW-1	ND_0	実行状態(エラーコードを含む)
数値オブジェクト	LW-2	ND_1	データ長さ(単位は Byte)
ワード設定	LW-0	SW_0	コマンド 1: スキャン再開
ワード設定	LW-0	SW_1	コマンド 2: スキャン停止
ワード設定	LW-0	SW_2	コマンド 3: データ消去
ビット設定	LB-0	TS_0	カメラ状態
ビット設定	LB-1	TS_1	スキャン可否状態

アスキーオブジェクト	LW-10	AD_1	ASCII コードを表示する
アスキーオブジェクト	LW-10	AD_0	Unicode コードを表示する
数値オブジェクト	LW-10	NE_3	一番目キャラクタの Unicode コード
数値オブジェクト	LW-11	NE_4	二番目キャラクタの Unicode コード
数値オブジェクト	LW-12	NE_5	三番目キャラクタの Unicode コード
数値オブジェクト	LW-13	NE_6	四番目キャラクタの Unicode コード
数値オブジェクト	LW-14	NE_7	五番目キャラクタの Unicode コード